

製品名: GSTK1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11830**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	GSTK1
別名	HDCMD47P
遺伝子 ID	373156.0
SwissProt ID	Q9Y2Q3
免疫原	ヒト GSTK1 由来の合成ペプチド アミノ酸範囲: 138-188

背景

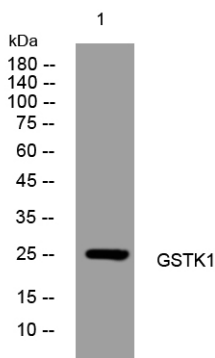
この遺伝子は、細胞の解毒に機能するグルタチオントランスフェラーゼスーパーファミリーの κクラスに属する酵素をコードする。コードされているタンパク質はペルオキシソームに局在し、グルタチオンの様々な疎水性基質への抱合を触媒し、これらの化合物の

細胞からの除去を促進する。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2009年1月]、触媒活性: $RX + \text{グルタチオン} = HX + R\text{-S-グルタチオン}$ 、機能: 顕著なグルタチオン抱合活性は、モデル基質である 1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン (CDNB) に対してのみ認められる。類似性: GST スーパーファミリーに属する。κファミリー。サブユニット: ホモ二量体。組織特異性: 普遍的。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



293T 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、GSTK1 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩